

専門ゼミ A		講義	准教授 古川 慎太郎
科目カテゴリー	救急救命士コースの必修科目	科目ナンバリング	13130301

1. テーマ

救急医療、救急・救助、災害対応、その他救急救命士にかかわりのある幅広いテーマを取り扱う。

2. ゼミのねらい・概要

卒業研究・卒業論文執筆に向けた基礎を固めるため、研究テーマの決め方や仮説の立て方、研究の進め方等について理解を深める。加えて、救急救命士国家試験に向けた対策を進める。

3. ゼミ計画

1. ガイダンス（本科目進め方）	9. 卒業研究の進め方④（研究テーマの検討）
2. 国家試験対策①（学力測定）	10. 国家試験対策④（A 問題への対策②）
3. 卒業研究の進め方①（研究の意義と手順）	11. 卒業研究の進め方⑤（研究テーマの設定）
4. 国家試験対策②（A 問題への取り組み方と対策）	12. 国家試験対策⑤（B 問題への取り組み方と対策）
5. 卒業研究の進め方②（論文の構成）	13. 国家試験模試①（A 問題 60 問）
6. 国家試験対策③（A 問題への対策①）	14. 国家試験模試②（A 問題 60 問）
7. 中間試験①（A 問題 60 問）	15. 国家試験模試③（B 問題 60 問）
8. 中間試験②（A 問題 60 問）	

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

卒業研究で取り組むテーマに関する知識習得、同テーマに関する研究動向の調査、卒業研究の設計に関する検討などに、週 1 時間程度を要する。また、国家試験に向けた学習に、週 7 時間以上を要する。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

口頭や資料提示等により、個別または授業中の講義を通じて行う。

6. 授業における学修の到達目標

卒業研究・卒業論文執筆への取り組みを通じて、論理的思考、文章作成能力等を養う。また、国家試験に向けた基礎を固める。

7. 成績評価の方法・基準

卒業研究への取り組み状況（20%）、中間試験の結果（30%）、国家試験模試の結果（50%）により成績評価を行う。

8. テキスト・参考文献

救急救命士国家試験対策出題分野別国試問題・解説集 A・B 問題編（2026 年版）（著：小関一英、晴れ書房）

9. 受講上の留意事項

3 分の 1 以上を欠席した場合は不合格とする。また、中間試験①②において合計得点率が 45%未満、国家試験模試①②の合計得点率が 50%未満、国家試験模試③の合計得点率が 65%未満の場合は、それぞれ翌週に追加模試（別問題で構成、問題の出題分野は同一）を行い、この結果において前記の基準に達しない場合は不合格とする。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当有無

該当する。本授業は、公的機関等での実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。